

公益社団法人愛知県医師会 第18回(定例)理事会議事録

開催日時：平成28年9月15日(木) 午後3時25分～午後4時50分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／横井 隆 城 義政 市川朝洋

理事／吉田 貴 伊藤健一 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗

榎尾富二 樋口俊寛 伊藤富士子 森 孝生 野田正治

林 義久 羽生田正行 浅井清和

監事／可世木成明 川上雅正 野口良樹

代議員会議長／伊藤 宣 夫

代議員会副議長／杉田洋一 山本 楯

欠席者

理事／瀨瀨雅明 細川秀一

議事録作成者 加藤結花

※加藤理事遅刻のため、承認事項1～3については、22名(うち理事16名)にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者23名(うち理事17名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①瀬戸旭医師会(会長 黒江幸四郎)の行う「BLS&AED講習会」[10/8(土)]の共催について

②NPO 法人愛知視覚障害者援護促進協議会(理事長 高柳泰世)主催の「平成28年度視覚障害リハビリテーション・補助犬関連施設合同説明会」[10/19(水)]の共催及び職員
の派遣について

③一般社団法人愛知県薬剤師会(会長 村松章伊)主催の第9回 あいち・くすりフォー

ラム「妊娠と授乳中のくすりと母と子の健康—ハイリスク母子への妊娠・育児支援—」
〔H29. 2/5(日)〕の後援について

榎尾理事より説明され、1-(1)-①～③について一括承認を求め、承認された。

(2) 第30回日本医学会総会 2019 中部登録委員会委員の推薦について

榎尾理事より説明され、本会の細川理事の推薦が承認された。

(3) 一般社団法人愛知県歯科医師会(会長 渡邊正臣)の行う「平成 28 年度愛知県歯科医師会医療圏代表者会議研修会〔11/24(木)〕への講師派遣について

榎尾理事より説明され、本会の野田理事の派遣が承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下の No. 1～4 の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

*は共催・協賛等

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	10/6(木)	臨時監事会	805 会議室	西山理事 榎尾理事
2	10/22(土) 11/5(土)	かかりつけ医認知症対応力向上研修	JP タワー名古屋 ホール&カンファ レンス 豊川商工会議所	野田理事 林理事
3	12/17(土)	BLS&AED 講習会	豊橋市保健所・保 健センター	大輪理事 細川理事
4	*12/17 (土)	保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	中日パレス	野田理事 林理事

3. 愛知県広域予防接種事業運営委員会委員の追加について

吉田理事より説明され、環境衛生委員会委員長の松岡宏(豊田加茂)先生の追加委嘱が承認された。

4. 平成 28 年度版会員名簿作成について

榎尾理事より、今年度は会員名簿作成の年にあたり、内容は前回は踏襲し、年内発送を予定している。CD 版については、本の内容をそのまま PDF に変換した形式ものに変更すると説明され、CD 版と冊子版の合計金額で、長苗印刷、ブラザー印刷、駒田印刷の 3 社で相見積を取った結果、最も安価な長苗印刷に依頼することが承認された。また、別冊として本会の事業概要、定款、諸規程等を纏めた冊子の作成を予

定しているが、内容等は検討中であると説明された。

5. 母体保護法指定医師の指定について

伊藤(富)理事より説明され、開業1名、転勤1名、新規指定3名、計5名の申請が承認された。なお、2名の医師については、一部、提出書類の不足および確認必要事項があったため、確認後の指定証交付とする。

6. 学校医・園医報酬要望額について

吉田理事より説明され、学校医報酬調査の結果、報酬額に大きな変動は見られなかったので、例年どおり学校医報酬要望額で、要望及び学校医報酬調査結果を各地区医師会会長と県下各教育委員会に送付することが承認された。また、今回より、県教育委員会より要望の提出依頼のあった、教職員に対する長時間労働による面接指導、ストレスチェックによる面接指導の報酬要望額が併せて承認された。

柵木会長より、実際の報酬額について質問され、吉田理事より、市町村によりまちまちで統一されていないと説明された。

樋口理事より、学校医が学校職員の健康管理を行う産業医を兼務していることについて問題はないか質問され、吉田理事より、産業医の資格のない学校医に対しては、資格を取っていただくか、資格保持者を産業医として別に依頼していただくよう教育委員会にはお願いしていると説明された。

城副会長より、稲沢市では学校医の報酬は稲沢市が負担するが、産業医報酬の負担はしないため、産業医の役割は拒否していると説明された。

杉田副議長より、名古屋市は学校医のみで、学校職員については全く関与していないと説明され、森理事より、以前は兼務しており、資格のない学校医は努力義務ではあるが、産業医の資格を取るよう促していた。今年度からは予算の都合上、学校医のみとなったという経緯があると補足された。

7. 中部医師会連合第1回介護保険特別委員会〔9/25(日)〕への出席者について

(中部医師会連合主催：JPタワー名古屋)

野田理事より、別公務と重なったため、前担当である伊藤宣夫議長の代理出席について諮られ、出席が承認された。

なお、オブザーバーとして出席される。

—協議事項—

8. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 中部医師会連合第3回常任委員会〔9/7(水)〕について

(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)

柵木会長より当面の医療問題について福井県より問題が提起された。

運転試験場で75歳以上を対象とした認知症の適性検査を行った結果、65,000人が認知症の可能性があったと日経新聞に掲載された。福井県警より、認知症の可能性のある方については医師の診断が必要となるので、診断医師(専門医)の登録について協力要請があったが、その際の診察は保険診療とするのか、自費診療とするのかという指摘等があった。診断結果によっては、運転免許証を剥奪することになり、問診だけでは難しく、責任重大である。これは福井県のみならず全国的な問題でもあるので、専門医を推薦するにあたり、その辺りの整備を警察庁と日医とで明確にさせていただくよう、9月20日(火)に行われる日医都道府県医師会長協議会で質問することとしたと報告された。

野田理事より、認知症の診断については、県内の指定された医療機関で受診する際は保険診療であったが、今後は不明である。また、専門医にも情報が届かないという状況であり、不満の声が挙がっていると説明された。

柵木会長より、本日、愛知県警本部長及び幹部との懇談会の席で情報交換すると発言された。

その他、柵木会長より、愛知県医師会設立70周年記念式典について、樫尾理事に説明を求め、樫尾理事より、本会役員を始め、郡市区医師会、各分科会、現委員会委員、代議員等300名程度に案内し、200名程度の参加者を見込んでおり、前回は立食形式であったが、今回は着席形式を予定していると説明された。

2. 中部医師会連合第2回社会保険特別委員会〔9/11(日)〕について

(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)

加藤理事より、各県の個別指導の実施体制、高額医薬品等について資料に基づき意見交換を行ったと報告された。指導監査の状況について愛知県の場合は、各医会から保健指導医を推薦していただき、医師会が取りまとめる。厚生局から保健指導医として委嘱を受けた指導医が個別指導等に立会い、各専門の医師が指導にあたるという体制を取っている。他県では保健指導医が専門外でも専門医の意見を聞いた上で指導にあたっている。また、個別指導でも専門病院の医師に立ち会っていただき、臨機応変に立会いの医師の意見を求めているという状況であると説明された。

その他、高額医薬品については委員総会特別委員会中間報告の中で、厚労省、日本医師会より講演していただく予定であると説明された。

【本会関係会議について】

3. 環境衛生委員会 [9/6(火)] について

(501 会議室)

吉田理事より、委員長に松岡委員、副委員長に後藤委員が選出された。皆川委員より現在の感染症の状況について、健康対策課より感染症患者移送車両の整備、新型インフルエンザ等発生時における住民接種体制の構築について報告があったと説明された。その他、平成 28 年度感染症及び結核講演会、第 2 回感染症・予防接種研修会の開催についての説明があった。

柵木会長より、新型インフルエンザが発生した場合、以前、官公庁より通達された摂取優先順位で変更ないか質問され、吉田理事より、変更ないと応えられた。

4. 調査室委員会 [9/6(火)] について

(5 階医師連盟会議室)

大輪理事より、調査室だよりについて議論し、修正後医報に掲載すると報告された。また、実態調査設問について議論したと報告され、その他、MEDIFAX 記事について解説、意見交換を行ったと説明された。その他、国家戦略特区における医療法人の理事長は、医師・歯科医師ではない理事からの選出が認可されているが、全国の状況について調査した結果、愛知県を始め、現在どこからも申請がないとのことであり、医師以外の理事長の要件については執行されていないと説明された。

5. 第 1 回愛知県医師会立名古屋助産師学院入学試験委員会 [9/9(金)] について

(愛知県医師会立名古屋助産師学院主催：501 会議室)

大輪理事より、今年度の入学試験の要綱(日程、内容)について検討したと説明された。また、県内の他の助産師養成学校の状況について意見交換が行われたと報告された。

6. 在宅医療サポートセンター実務者協議会／実務者養成研修会 [9/6(火)] について

(9 階大講堂)

野田理事より、今年度のサポートセンター事業費補助金の交付決定および概算払・精算払スケジュール等について事務連絡を行ったと説明された。また、県担当者から本県の在宅医療の推進に向けた各種取り組み状況について説明された。実務者養成研修会では前回に引き続き、名古屋大学総長補佐・水野正明先生から「地域医療・地域包括ケア(コンダクターとコーディネーターの役割)」をテーマにご講演いただいたと報告された。

7. 「現代医学」誌編集委員会 [9/8(木)] について

(501 会議室)

羽生田理事より、COI(利益相反)に関する規程等の作成について報告された。

64 巻 1 号の進捗状況については、若干作業が遅れていたが目処は付き、64 巻 2 号については順調に進んでいる。62 巻 2 号よりオンライン化した本誌の国会 HP 内掲載ページへのアクセス数が少なく、アクセス増加の対策として64巻2号より、愛知医報への目次掲載を決定したと説明された。また、65 巻 1 号のテーマ・執筆者の選定を行ったと報告された。

8. 平成 28 年度愛知県糖尿病対策推進会議 [9/7(水)] について (501 会議室)

浅井理事より、予算、事業報告を行い、平成 28 年度の学術講演会は平成 29 年 2 月 25 日(土)中日パレスクラウンホールで開催し、演者は東京医科大の小田原雅人先生、慈恵医大の宇都宮一典先生、名大の安田宜成先生を予定していると報告された。糖尿病性腎症重症化予防プログラムを県下医師会長等協議会で配付して、会員の啓蒙を進めてほしいとの要望があり、既に実施している自治体から情報入手し検討すると説明された。

9. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記の No. 1～3 の国会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	9/8(木)	産業医研修会	136 名	西山理事 樫尾理事
2	9/10(土)	愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第 2 回講演会	287 名	樋口理事 細川理事
3	9/10(土)	医療従事者の認知症対応力向上研修	70 名	野田理事 林理事

【行政、その他関係団体等会議について】

1 0. 第 1 回愛知県訪問看護ステーション協議会理事会 [9/12(月)] について (愛知県訪問看護ステーション協議会主催：愛知県看護協会)

大輪理事より、役員交代人事が了承され、監事に国会の長屋事務局長が就任した。また、連絡協議会の規約の改定(目的の改正、委員長会議等の明文化)などについて協議し、その他、法人化に向けた準備状況の報告と加藤副会長を中心とした法人化に向けたプロジェクトチームの発足について承認されたと説明された。

1 1. 平成 28 年度愛知県小児慢性特定疾病児童等地域支援協議会 [9/5(月)] について (愛知県健康福祉部児童家庭課主催：愛知県庁西庁舎)

樋口理事より、小児慢性特定疾病児童の支援に関わる保健、医療、福祉、教育関係

者、患者会の代表が集まり開催され、愛知県より、県内における小児慢性特定疾病児童における医療給付の現状や保健所にて実施した事業実績について報告された。その後、各関係機関より、小児慢性特定疾病児童の支援の現状について情報交換が行われたと説明された。また、10月に1,032ヶ所の保育園、幼稚園、認定こども園の施設代表者に向けアンケート調査を実施し、11～12月頃に集計・まとめを行う予定であると説明された。

1 2. 一般社団法人愛知県労災指定医協会平成28年度第4回理事会〔9/8(木)〕について

(一般社団法人 愛知県労災指定医協会主催：802～804 会議室)

浅井理事より、事務局職員の交代人事が了承されたと報告された。一般社団法人愛知県労災指定医協会労働保険事務組合への参加を会員に勧めるよう働きかけ、参加会員が増加することにより、社会保険労務士の委託料が大幅に安くなると説明された。また、平成28年度労災診療費算定実務研修会を10月、11月に県下各地区で5回開催すると報告された。

【病診連携・地域医療支援病院関係会議について】

1 3. 平成28年度第2回名古屋掖済会病院地域医療支援病院運営委員会〔9/8(木)〕について

(名古屋掖済会病院主催：名古屋掖済会病院)

加藤理事より、紹介率と逆紹介率：(平成28年4月～6月)紹介率62.4%、逆紹介率92.4%について、共同利用の実績について、救急医療の実績について、研修の実施状況について報告された。

中京病院、中部労災病院、掖済会病院で、医薬品等を共同購入し、コスト削減を図りたいという話があった。

伊藤(健)理事より、共同購入は現状では難しく、情報を共有することによりコストダウンを図るということであろうと説明された。

四肢切断等に関しては、名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋医療センター、中京病院、掖済会病院等で受入体制の整った病院が臨機応変で対応できるよう、ネットワーク化を進めていきたいという話があった。

【その他事項について】

1 4. その他

- ・ 中部医師会連合委員会総会の案内について

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成28年9月15日